

デジタル写真の小黑板情報電子化に関する特記仕様書

デジタル写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に委託写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、委託写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、委託写真の改ざん防止を図るものである。

本業務でデジタル写真の小黑板情報電子化を行う場合は、委託契約後、市監督員の承諾を得たうえでデジタル写真の小黑板情報電子化対象業務（以降、「対象業務」と称する）とすることができる。対象業務では、以下の 1. から 4. の全てを実施すること。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、「表 1」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用すること。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は市監督員に対し、作業着手前に本業務の使用機器について提示すること。

なお、使用機器の事例 URL「https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア一覧」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、1. の使用機器を用いてデジタル写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、「表 1」による。

ただし、対象業務において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本業務の委託写真については、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真編集には含めない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子

化写真」と称する。)を、業務完了時に市監督員へ納品すること。なお納品時に、受注者は URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツールまたは信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや委託写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて市監督員へ提出すること。なお、提出された信憑性確認の結果を、市監督員が確認することがある。

表 1

① 委託名
② 場所（公園名、緑道名等）
③ 工種等
④ 日付
⑤ 樹種名
⑥ 実測寸法
⑦ 施工状況
⑧ 会社名